



たばこ事業

# 2023年度実績及び2024年度ガイダンス

**Eddy Pirard**

JTI President & CEO

※本資料に含まれる数値は各事業の業績を分かりやすく説明するために使用しており、財務諸表の数値と異なる場合があります。

## 将来に関する記述等についてのご注意

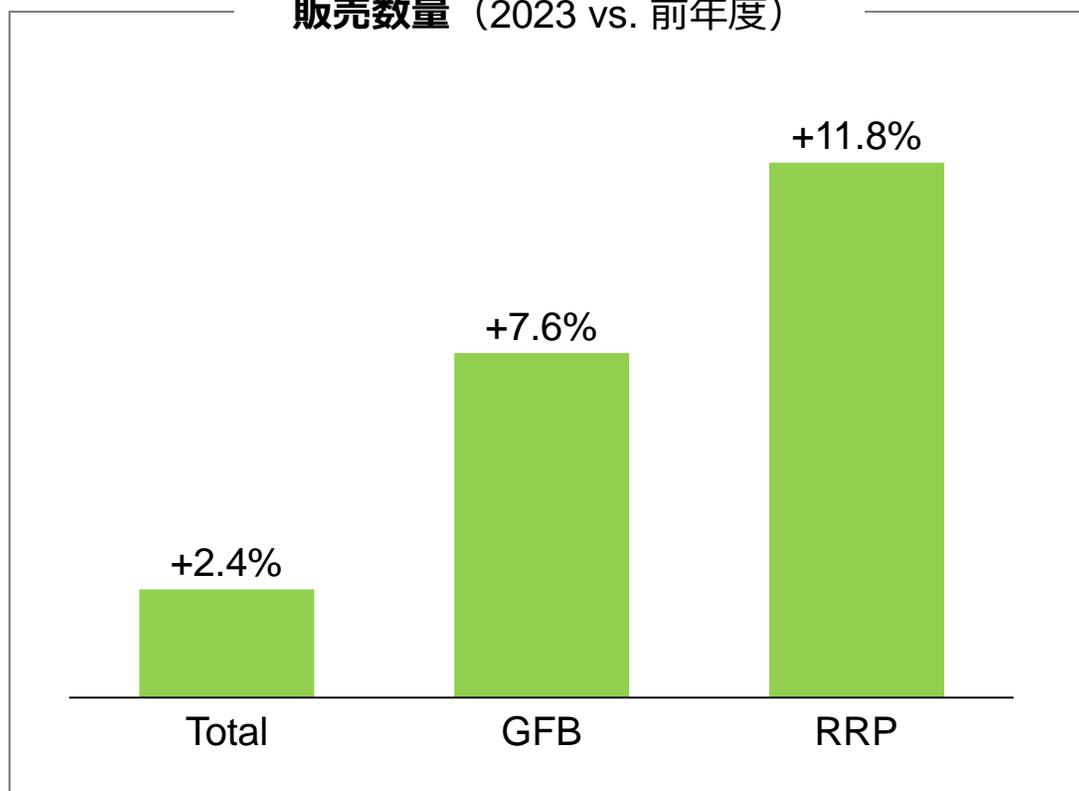
本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予想しています」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。

その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

1. 喫煙に関する健康上の懸念の増大
2. たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
3. 国内外の訴訟の動向
4. たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
5. 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
6. 市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・行動の変化及び需要の減少
7. 買収やビジネスの多角化に伴う影響
8. 国内外の経済状況
9. 為替変動及び原材料費の変動
10. 自然災害及び不測の事態等

# GFB・RRPが力強い数量パフォーマンスを牽引

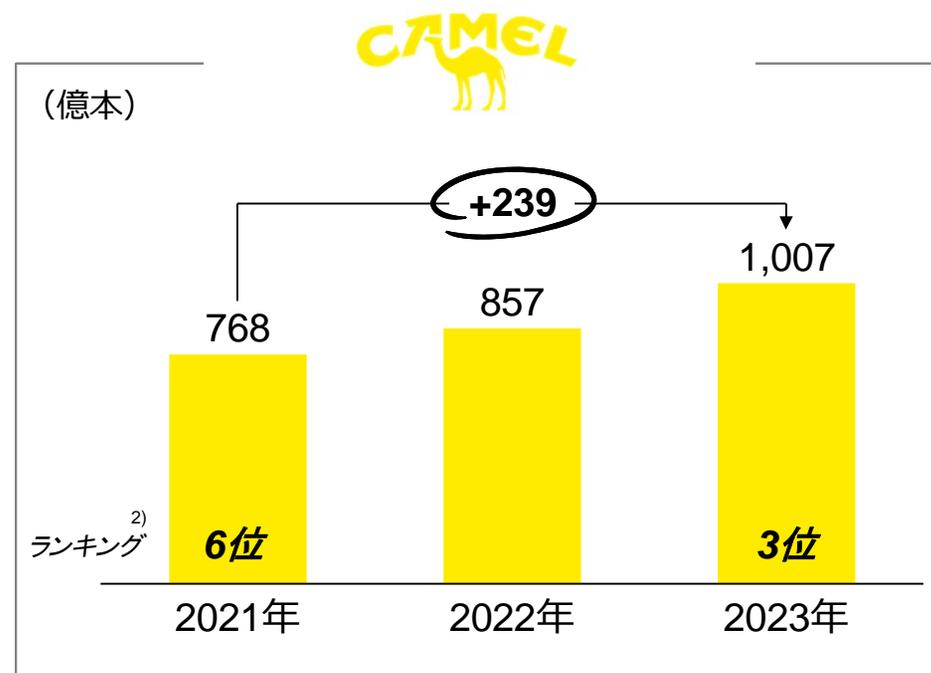
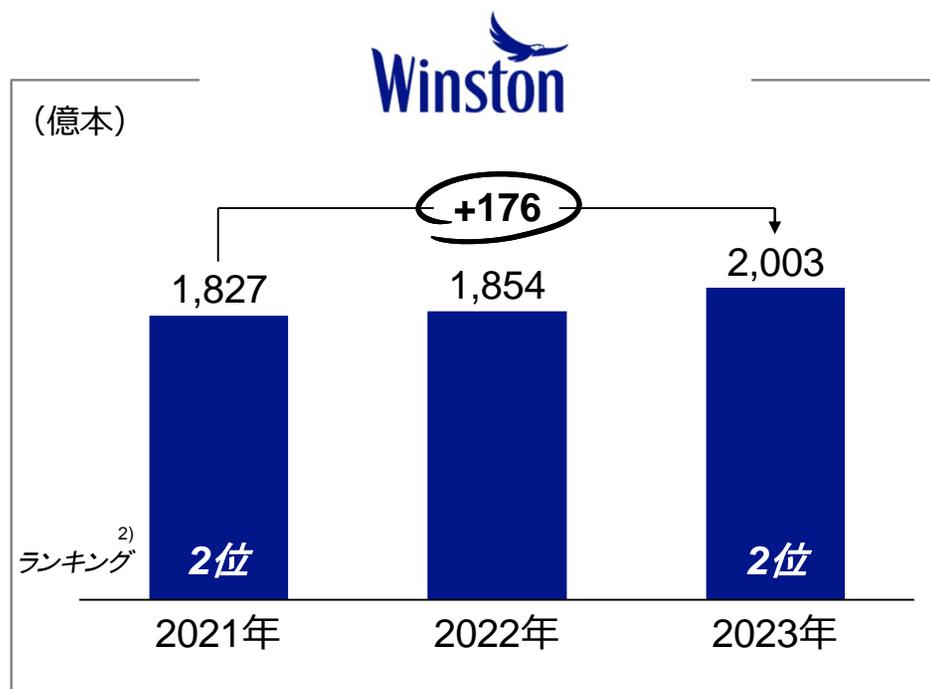
販売数量（2023 vs. 前年度）



- 総需要約1.4%<sup>1)</sup>減少に対し、総販売数量は増加
- 50以上の市場において販売数量が増加
- GFB販売数量が引き続き伸長し、総販売数量の72%を占める:
  - Winston・Camelの販売数量が35以上の市場において2桁成長
- RRP販売数量も2桁成長
  - 新たに11市場でPloom Xをローンチ
  - 日本ではHTSカテゴリ内シェアが引き続き伸張

注: 1) JTグループ販売数量の90%超を占める70以上の市場におけるRMC+FCT+HTに基づく

# Winston・Camelの伸長がGFB販売数量増加に寄与



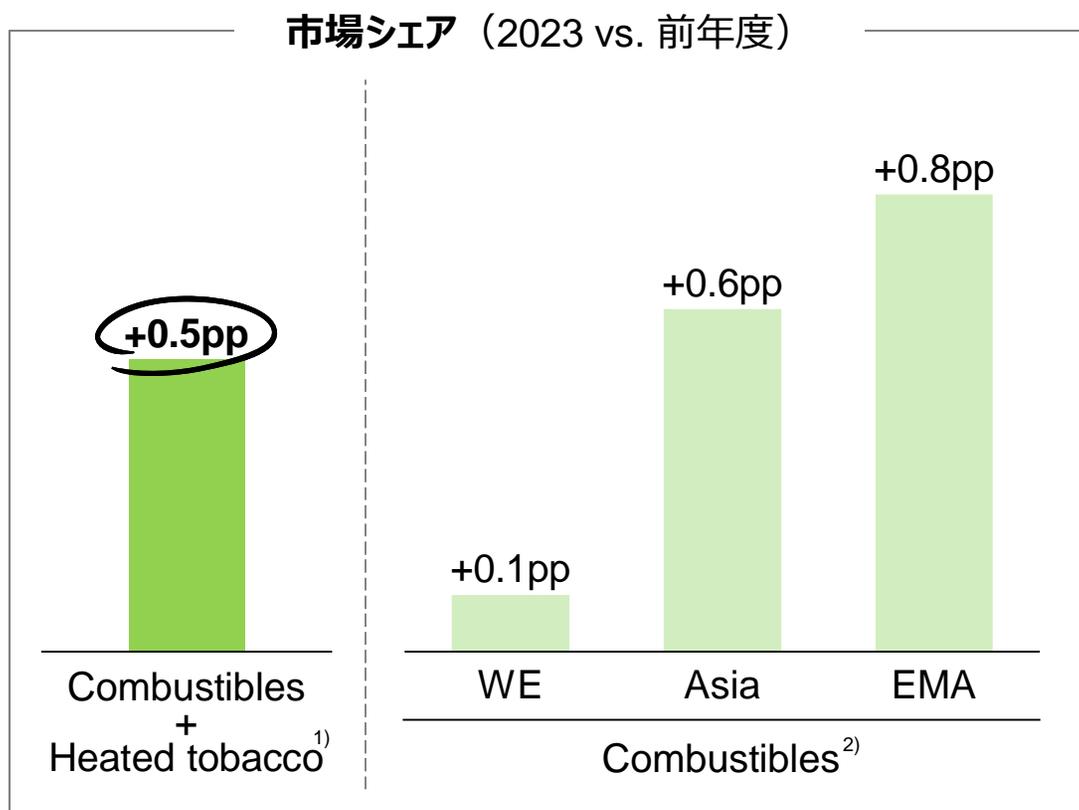
- 多くの市場において販売数量増が継続
  - 販売数量: 前年度比+8.1%
  - SOV: 前年度比+0.7pp<sup>1)</sup>

- Combustiblesにおいて最も伸長著しいブランド
  - 販売数量: 前年度比+17.5%
  - SOV: 前年度比+0.7pp<sup>1)</sup>

© Copyright JT 2024

注: 1) JTグループ販売数量の90%超を占める70以上の市場におけるRMC+FCTに基づく 2) RMC+FCTに基づく国際ブランドのグローバルランキング(中国を除く)

# 市場シェアは全クラスターにわたって引き続き伸張



- 卓越した実行力とブランド構築が寄与し、2023年度もTotalシェアが伸張
- Totalシェアは過去最高を達成
- 50以上の市場でシェアが伸張
  
- 各クラスターの市場シェア伸長を牽引した市場:
  - Western Europe | フランス、ドイツ、イタリア
  - Asia | 日本、フィリピン、台湾
  - EMA | ヨルダン、カザフスタン、ルーマニア

# 主要市場における堅調な業績

## 主要市場における市場シェア（2023 vs. 前年度）<sup>1)</sup>

イタリア

23.2%  
(+0.2pp)

日本

42.8%  
(+0.3pp)

フィリピン

42.4%  
(+3.9pp)

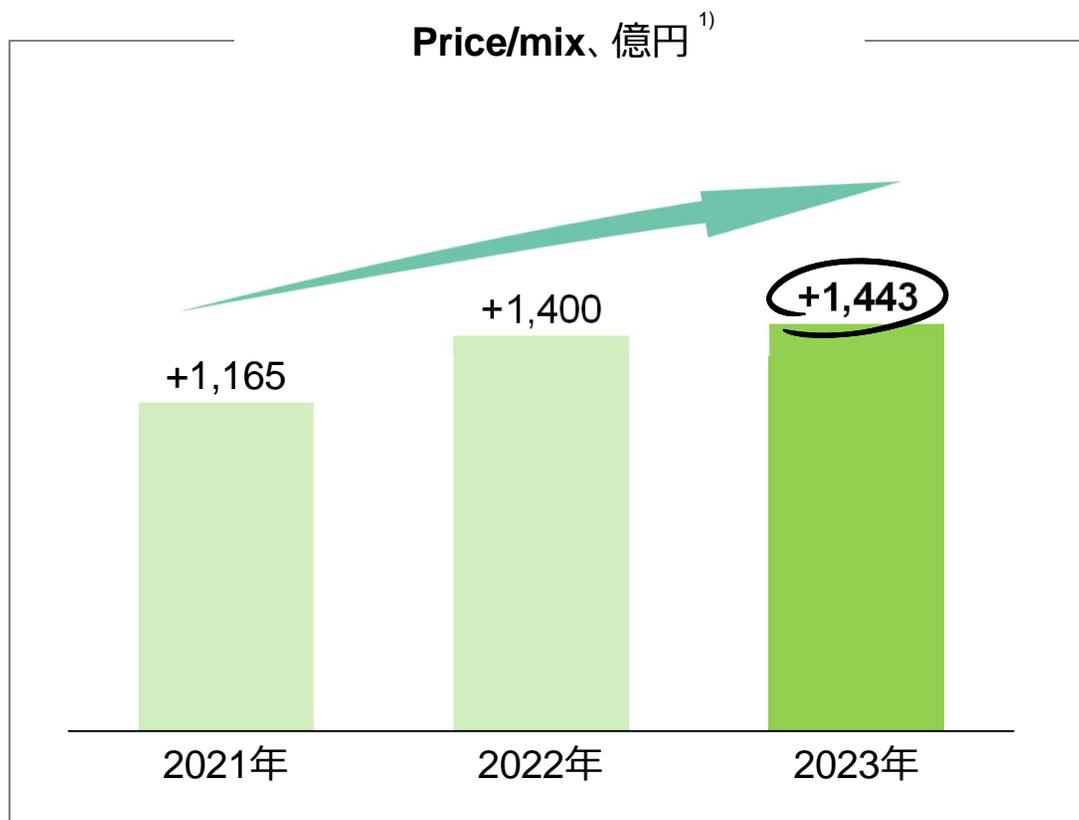
台湾

50.3%  
(+1.4pp)

- イタリアではCombustiblesとRRPの市場シェアがともに伸張
- 日本では市場シェアの伸張、特にPloomのシェア伸張の継続がポジティブな数量差影響に寄与
- フィリピンではCamelが牽引し、市場シェアが+3.9pptと目覚ましく伸張
- 台湾ではWinston・LDの伸張により市場シェアが50%超に到達
- 英国では市場シェア40%超、同市場におけるリーダーの地位を維持

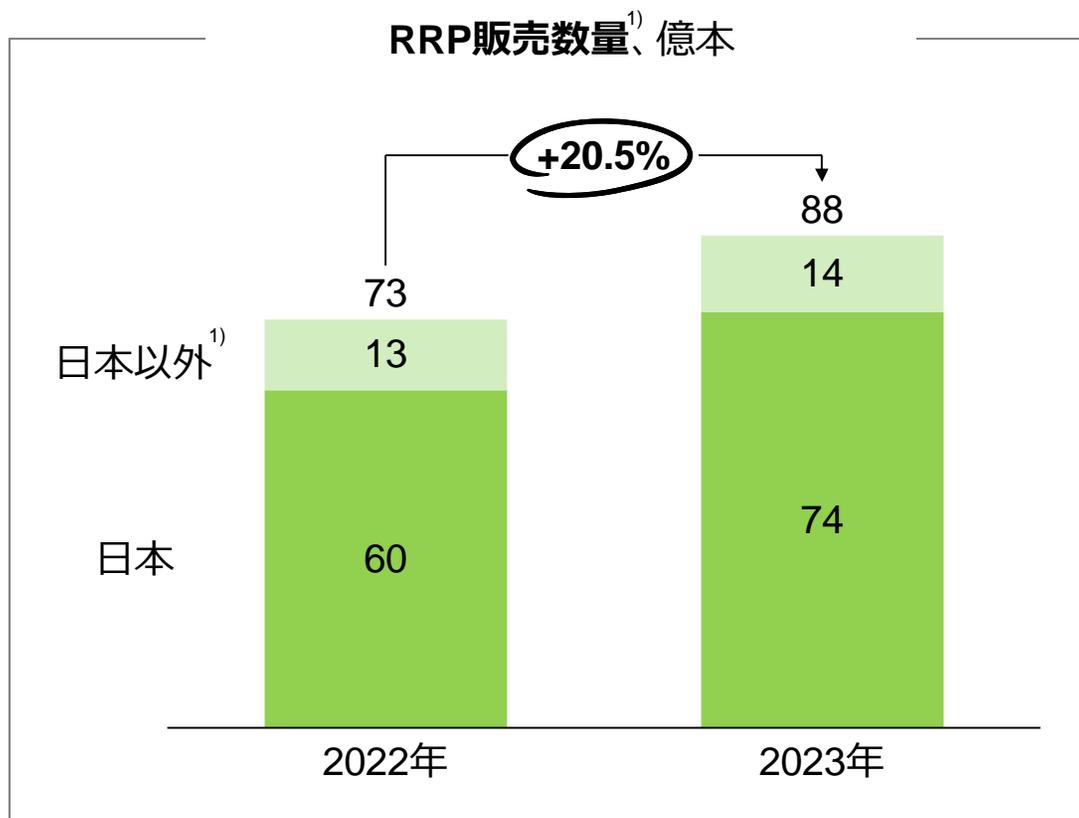
注: 1) RMC + FCT + HTに基づく

# Price/mixが過去最高を更新



- Combustiblesの持続的なプライシングがインフレ圧力を上回る
- 各クラスターの伸長を牽引した主な市場:
  - Asia | インドネシア、フィリピン
  - EMA | カナダ、ルーマニア、ロシア、トルコ
  - Western Europe | ドイツ、スペイン、英国
- ダウンレーディングの継続及び渡航制限の緩和によりMixは自社たばこ製品売上収益にネガティブに影響

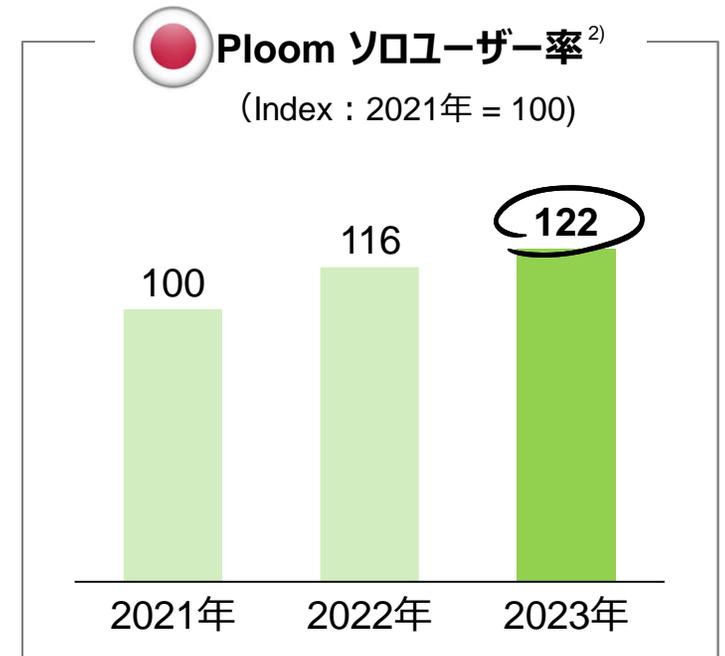
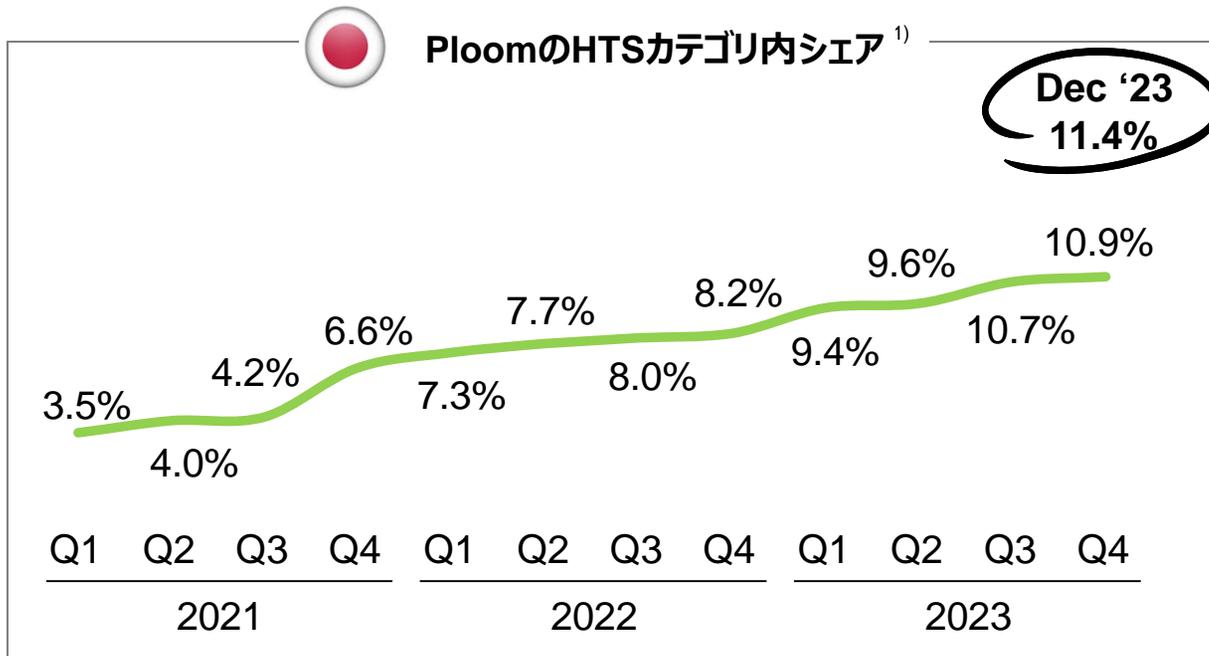
# RRP販売数量は2桁の増加



- 日本における好調なPloom Xが、RRP販売数量の力強い伸長を牽引
- 現在、Ploom Xは13市場で販売
- 日本以外では、23年下期におけるPloom Xの複数市場でのローンチが伸長に寄与
- HTSカテゴリ内シェアは6.7%<sup>2)</sup>と推計、2028年までにカテゴリ内シェア10%台半ば達成に向けて順調な進捗

## Ploom Xは日本において引き続きシェアを伸張

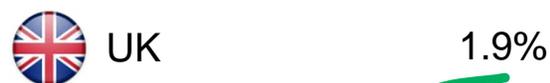
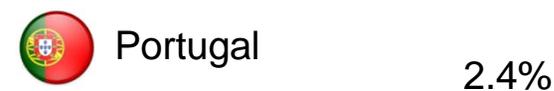
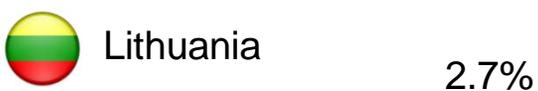
- 競争が激化するHTSカテゴリで継続してシェアを拡大し、23年12月には11.4%に到達
- MEVIUS・Camelを中心にお客様のニーズに合わせたフレーバーと味わいを揃えた、多角化されたSKUポートフォリオ
- 23年11月のPloom X ADVANCEDの投入により、お客様の獲得とリテンションがさらに向上



注: 1) Ploom販売数量/HTS総需要 2) たばこ消費に占めるPloomの比率が100%だったユーザー

# Ploom Xは日本以外においても好調なスタート

PloomのHTSカテゴリ内シェア（ローンチエリア）、%



M1 M2 M3 M4 M5 M6 M7

M1 M2 M3 M4 M5 M6 M7

M1 M2 M3 M4 M5 M6 M7

Ploom Xローンチからの月数

## HTSへの投資を加速

- 日本及び既存市場における継続的なシェア伸長により、総販売数量の増加へ貢献
- Ploom Xの新たな市場への地理的拡大により、HTS総需要の80%をカバー

## Combustiblesのトップライン成長と収益性向上に引き続き注力

- 市場シェアモメンタムの醸成と強力なGFBのエクイティにより総需要の減少を相殺
- 持続的なプライシングにより自社たばこ製品売上収益の成長及び利益率の改善を促進

## 競争力の強化

- 更なる効率化による継続的なコスト抑制